



一般質問



努力と忍耐で閉塞感を打開せよ
市長3期目は「有言実行」あるのみ

社民・民主・護憲クラブ 平嶋 慶二議員

問 市長3期目の決意を聞きたい。

答 本市のまちの再建を目標に、市政公約2011に掲げる具体的な施策や事業の実現に誠心誠意、全力を傾注していきたい。

問 住宅改修費への助成制度は、経済効果や雇用対策につながるという認識は一致する。住宅耐震改修工事費補助事業も含め24年度予算への反映を要望したいがどうか。

答 同助成制度は、生活環境の向上が図られることなどから、実施の可否を検討している。同じく補助事業も、耐震化促進の一助になると考えており、耐震診断及び耐震改修の啓発を行いつつ、今後検討したい。

問 電子市役所を推進する上で、市民に情報格差があるてはならない。光ファイバー通信網の整備状況はどうか。

答 インターネット未整備地域があることは問題である。まずは実態把握に努めたい。



他市に負けない
大牟田づくりについて

自由民主党議員団 塚本 二作議員

問 市長の3期目の市政運営に当たり、その決意と情熱、政治姿勢について聞きたい。

答 市政公約2011に掲げる具体的な施策や事業を実現し、市民の幸福実現のために誠心誠意、情熱をもって全力を傾注していく。

問 本市が目指す健全財政について認識を聞きたい。

答 20年度に策定した財政健全化計画の目標は三つあり、①累積赤字を実質収支で黒字化、②抜本的な財政構造の改善、③財政規律の確保、である。①は達成しているが、②と③はまだ不十分である。

昨年9月に財政構造強化指針を策定し、一定の財政健全化の基準として、実質収支黒字化の継続、財政調整基金の一定程度の保有、経常収支比率と実質公債費比率の抑制を基準として示した。引き続き、この目標達成のために努力していく。



市民が望む
中学校給食の実現を

公明党議員団 三宅智加子議員

問 中学校給食実施については、12年3月に我が会派で行ったアンケート調査結果を踏まえての要望書提出、16年4月に4万3,880名の署名と要望書の提出等、これまで実現を強く求めてきた。実施に向けての市長の決意を聞きたい。

答 必要性は十分認識している。市政公約にも推進を掲げており、可能な限り早期に実施していきたい。

問 中学校給食を開始するに当たって懸念される、給食費未納の対策について見解を聞きたい。

答 受益者負担の原則と公平性の確保の観点から、小中学校で統一的な未納対策を講じていきたい。

問 子宮頸がん等予防ワクチン接種の24年度以降の取り組みについて聞きたい。

答 恒久的制度として国に要望していくが、継続できないなら、本市独自の対策も検討しなければならない。



新栄町地区の再開発構想における
取り組み状況について

自由民主党議員団 徳永 春男議員

問 新栄町駅前地区市街地再開発事業に対する、新栄町駅前地区再開発準備会（以下「地元準備会」という。）、大牟田商工会議所及び本市による取り組みの状況を聞きたい。

答 市としては、施設計画に関する地元準備会との協議や地元準備会実施の勉強会への参加、市主体の勉強会の開催などを、大牟田商工会議所とともに連携して取り組んできた。しかし、地元準備会の施設計画の取りまとめが遅れていたことから、地元準備会、大牟田商工会議所、本市で現状を確認し合い、今後の進め方として打ち合わせの定例化等を取りまとめ、目標・期限を設定して進めることを確認した。

今後もこのような取り組みにより、再開発事業が実現に向かって進むよう、積極的に指導・助言を行っていきたい。